

イベント&情報

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

美術館の調べ

● 10月3日(土)

村上明美ピアノコンサート

<演奏曲目> シューベルト「即興曲 Op.90」/シューマン「幻想曲Op.17」ほか

<出演者からのひと言> ロマン派の詩情あふれる美しい作品をお届けします。約200年の時を越えて、彼らの追い求めた世界をぜひお楽しみください。(京都市立芸大を経てフライブルク音大ピアノ科を修了。今年度よりミュンヘン音大リート科で研鑽を積む)

アトリエにて 14:00~ 無料

四季シリーズコンサート<秋>

● 10月4日(日)



田中潤子ソプラノリサイタル

<演奏曲目> 中西覚「琴座のベガ」/下村正彦「ブランコ」ほか

<出演者からのひと言> 神戸・西宮在住の作曲家の作品、イタリアの作曲家・ヴェルディの歌曲とアリア。2つのワールドをお届けします。(関西二期会をはじめ数々のオペラで主役を演じる。神戸市文化奨励賞などを受賞)

●坂本恵子(ピアノ)

アトリエにて 15:00~ 3,500円

美術館の調べ

● 10月10日(土)

中村公美コントラバスリサイタル

<演奏曲目> エルガー「愛のあいさつ」/シューベルト「アルペジオーネ・ソナタ第1楽章」ほか

<出演者からのひと言> コントラバスが歌います!クラシックの名曲、日本の歌からコントラバスのために書かれた難曲まで、たっぷりとお楽しみ下さい。(神戸女学院大修士課程修了。第14回日本クラシック音楽コンクール全国大会入選など) ●革島玲奈(ピアノ)

アトリエにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 10月17日(土)

金澤佳代子&本家現代ピアノ連弾コンサート
~「ペール・ギユント」物語と演奏~



<演奏曲目> グリーク「ペール・ギユント」組曲から「花嫁の略奪」「オーゼの死」「ソルヴェイグの歌」ほか

<出演者からのひと言> 劇音楽「ペール・ギユント」はノルウェーの劇作家イブセンが書いた物語に、当時の人気作曲家グリークが曲をつけたものです。童心に返ったおつもりで、物語の情景と美しい音楽をお楽しみください。 ●金澤佳代子(東京芸大卒。旧東ドイツ政府の招聘を受け、ライプツィヒなど主要都市を演奏旅行。文化庁移動芸術祭でも全国各地で演奏。第40回芦屋市民文化賞など受賞)

●本家現代(東京芸大、ジュリアード音楽院卒。尼崎市民芸術奨励賞など受賞。演奏家、編曲家として、また後進の指導にも尽力)

アトリエにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 10月24日(土)

中須賀和子ソプラノリサイタル
~貴方に歌の花束を~

<演奏曲目> 山田耕祥「曼珠沙華」/グノー「アベ・マリア」ほか

<出演者からのひと言> 日本とイタリアの歌曲やオペラアリアの中から、広く知られた名曲の数々をお届けします。午後のひと時、どうぞお楽しみ下さい。(神戸大教育学部卒、大阪教育大学院修了。日本クラシック音楽コンクール全国大会入選) ●中須賀紗織(ピアノ)

アトリエにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 10月31日(土)

<明楽みゆきレクチャーコンサート>

~チェンバロの魅力・バッハの時代の音楽模様を眺めて~

<演奏曲目> クーブラン「森の精」/ヘンデル「パッサカリア」ほか

<出演者からのひと言> バロック音楽が開いたところの作品と時代背景を、チェンバロの繊細な音色を聴きながら楽しんでいただきます。(大阪音大専攻科修了。国内外でのコンサート、プロデュース活動を展開中。北大総合博物館市民セミナー講師。札幌市在住)

アトリエにて 14:00~ 無料

文化の日に贈るクラシックコンサート

● 11月3日(火・祝)

オペラ「カルメン」によるハイライト

<演奏曲目> カルメン「ハバネラ」/エスカミリョ「闘牛士の歌」/ミカエラ「もう恐れはせぬ」のほか、ピアノソロ、マリンバソロなど

<出演者からのひと言> おなじみのオペラ「カルメン」全曲の中から有名な箇所を取り上げ、物語をナレーターでつなげながらお楽しみいただきます。 ●西原綾子(カルメン) ●北井春花(ミカエラ) ●時宗務(エスカミリョ) ●間瀬尚美(マリンバ) ●林朋美(ピアノ) ●永井和子(企画構成・ナレーター)

アトリエにて 14:00~ 無料

世界の音楽

● 11月8日(日)

「アイルランドの風」

<演奏曲目> オキャロラン「妖精の女王」/ハンブリー「サンザシの木」ほか

<出演者からのひと言> 不思議な懐かしさと優しさに満ちたアイルランドの音楽。即興的な選曲で奏でられる様々な曲。心が喜ぶひと時を楽しみましょう。 ●守安功、守安雅子(アイリッシュフルート、アイリッシュハーブなど。アイルランドの名人たちから直接教えを受け、伝統音楽の発掘と演奏、新作曲の紹介等を行っている) ●グローニヤ・ハンブリー(アイリッシュハーブの演奏は今、彼女によって新しい次元が開かれつつあるといえるほどの天才奏者)

アトリエにて 15:00~ 3,000円



美術館の調べ

● 11月14日(土)

ブルマー美由紀ピアノリサイタル

<演奏曲目> シューマン「ウィーンの謝肉祭の道化」/シューベルト「即興曲変ト長調」ほか

<出演者からのひと言> 来年、生誕200年を迎えるシューマン、ショパンをはじめ、ロマン派の作品をお届けします。お楽しみください。(京都市立芸大卒業後、ザルツブルグ・モーツァルテウム国立音大修士課程を最優秀で修了。第10回伊・カラブリア国際ピアノコンクールのファイナリスト)

エントランスホールにて 14:00~ 無料



美術館の調べ

● 11月21日(土)

貝原有美・白石優香ヴァイオリンデュオコンサート

<演奏曲目> バッハ「2つのヴァイオリンのための協奏曲」ほか

<出演者からのひと言> 2つのヴァイオリンの美しい音の響きを皆様感じていただければと思います。ぜひお聴き下さい。 ●貝原有美(京都市立芸大在学中。子どものためのヴァイオリンコンクール金賞。日本学生音楽コンクール大阪大会第2位)

●白石優香(京都市立芸大在学中。若き獅子たちの音楽コンクールでサントレヴィ賞。ドブリンベトコフ国際ヴァイオリンコンクール第3位) ●吉本成美(ピアノ)

エントランスホールにて 14:00~ 無料

美術館の調べ

● 11月28日(土)

<ロビン・ロイドレクチャーコンサート>

~民族音楽の楽しみ~

<演奏曲目> 「孔雀飛来」/「ラプター」など

<出演者からのひと言> 23歳の時に尺八と三味線を習うために来日しました。今ではこうした民族音楽が音楽療法としても有効であることが分かり、演奏活動とともに力を入れています。一人一人の心に寄り添うような優しい音楽を、ともに味わい体験しましょう。(アメリカ出身。4歳からドラム、7歳からギターを始め、14、5歳から民族楽器に興味を持つ。大学卒業後、アジアを拠点に50カ国以上を旅している民族音楽のマルチ・プレーヤー)

アトリエにて 14:00~ 無料

特別演奏会

● 11月29日(日)

加古 隆ピアノコンサート

ホワイエにて 18:15~ 3,500円



セミナー

第2回 KEN-VI文化セミナー

● 10月28日(水)

佐渡 裕 講演会「芸術は心のビタミン」

今回のセミナーは兵庫県立芸術文化センター芸術監督の佐渡裕さんをお迎えします。佐渡さんが芸術監督としての活動を通じて、震災からの「心の復興」にける熱意や、「指揮者・佐渡裕」誕生までの平坦ではなかった道のり。そして欧州で感じた芸術への思いを語っていただきます。また、佐渡流「コンサートの意外な楽しみ方」も伝授。もしかししたら、当日素敵なサプライズがあるかも!

ミュージアムホールにて 15:00~ 1000円(前売りのみ、問い合わせは当美術館 KEN-VI文化セミナー係 078-262-0908)